

登米市公共施設等総合管理計画

－ 博物館等の個別計画 －

令和2年11月

登米市

目次

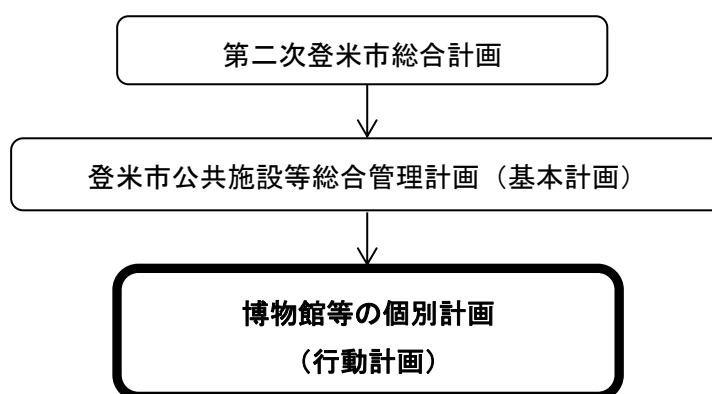
1	個別計画策定の目的	3
2	現状や課題に関する基本認識	3
3	対象施設	
3-1	対象施設一覧	3
3-2	配置状況	4
4	管理に関する基本的な考え方	4
5	施設分析	
5-1	経過年数及び利用者一人当りの公費負担額	5
5-2	利用者数及び公費負担額	5
5-3	m ² 当たりの運営コスト比較	6
6	施設評価	6
7	個別施設の今後の方向性及びロードマップ	
7-1	今後の方向性	8
7-2	ロードマップ	9
8	期待される効果等	10

登米市公共施設等総合管理計画個別計画（最終案）

1 個別計画策定の目的

「博物館等の個別計画（以下「本計画」という。）」は、博物館等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することを目的として策定する。

なお、本計画は、登米市公共施設等総合管理計画（平成 28 年 12 月）に基づく行動計画として位置付けるものとする。



2 現状や課題に関する基本認識

博物館等の施設には、国や県などの有形文化財の指定を受けている施設もあり、観光拠点施設として活用されている。

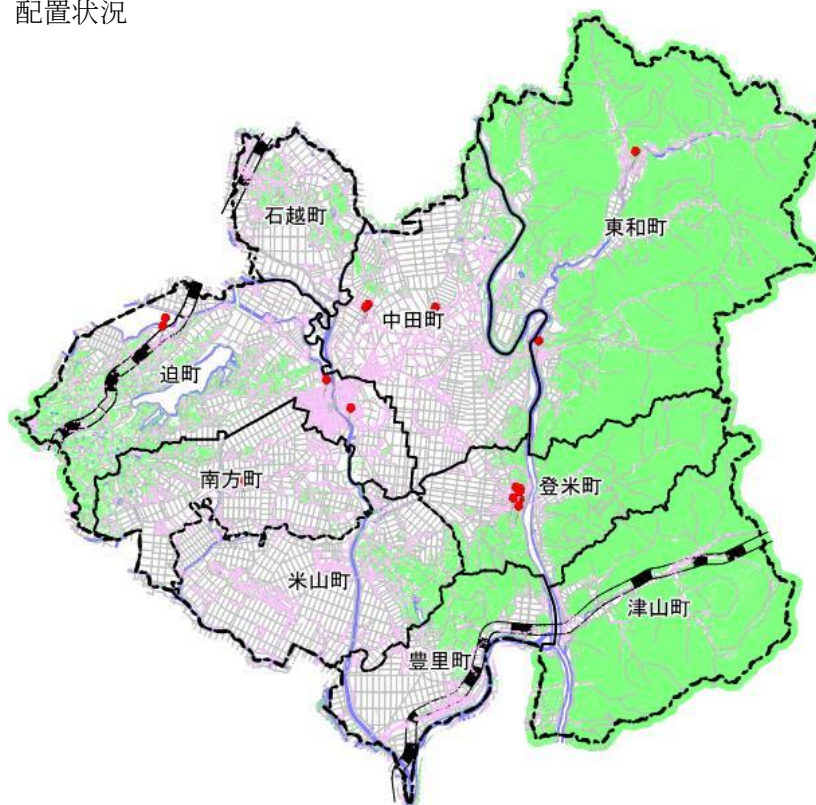
老朽化により施設の更新を進めている施設もあるが、類似施設との集約化により機能分担を検討する必要がある。

3 対象施設

3-1 対象施設一覧

No.	施設名	所在地	建築年 (年)	経過年 数(年)	延床面 積(m ²)	利用者数(人) (H26～H28の 3カ年平均)	公費負担額(H26～H28の3カ年平均)			管理形態
							総額(千円)	市民一人 当たり(円)	利用者一人 当たり(円)	
1	迫野鳥観察館	迫町新田	1984	36	155.84	-	21.70	0.27	-	指定管理(利用者等 把握していない)
2	伊豆沼・内沼サンプラザ リセンター	迫町新田	1992	28	897.12	14,517.33	1,172.26	14.38	80.75	指定管理
3	石ノ森章太郎ふるさと記 念館	中田町石森	2000	20	921.74	19,753.33	16,030.33	196.66	811.53	直営
4	石ノ森章太郎生家	中田町石森	2001	19	206.59	3,066.67	1,407.67	17.27	459.02	直営
5	不老仙館	東和町米谷	1851	169	616.90	664.00	3,084.67	37.84	4,645.58	指定管理
6	寿庵文庫	東和町米川	1952	68	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00	直営
7	南方歴史民俗資料館	南方町八の森	1972	48	248.42	40.00	134.67	1.65	3,366.67	指定管理(震災以降 休館状態)
8	歴史博物館	迫町佐沼	1999	21	926.50	8,731.00	6,281.67	77.07	719.47	直営
9	水沢県庁記念館	登米町寺池	1871	149	185.86	1,435.67	366.33	4.49	255.17	指定管理
10	教育資料館	登米町寺池	1888	132	1,685.71	32,294.00	3,324.00	40.78	102.93	指定管理
11	懐古館	登米町寺池	1988	32	285.60	1,551.33	848.00	10.40	546.63	指定管理
12	天山公廟	登米町寺池	不明	-	57.00	0.00	0.00	0.00	0.00	直営
13	警察資料館	登米町寺池	1889	131	309.66	3,800.67	611.33	7.50	160.85	指定管理
14	視聴覚センター	迫町佐沼	1994	26	599.10	3,843.33	9,134.33	112.06	2,376.67	直営
15	中田生涯学習センター	中田町上沼	1984	36	2,938.98	18,126.67	19,518.67	239.46	1,076.79	直営
16	登米市高倉勝子美術館	登米町寺池	2009	11	332.89	3,713.33	11,315.00	138.82	3,047.13	指定管理
17	新懐古館	登米町	2019	1	824.60					直営
	平均			61.73		8,528.72	5,011.85		1,000.28	

3-2 配置状況



4 管理に関する基本的な考え方

文化財指定施設については、有形文化財として後世に残すため、計画的な修繕を行うとともに、指定管理者制度を継続した更なるサービスの向上に努める。

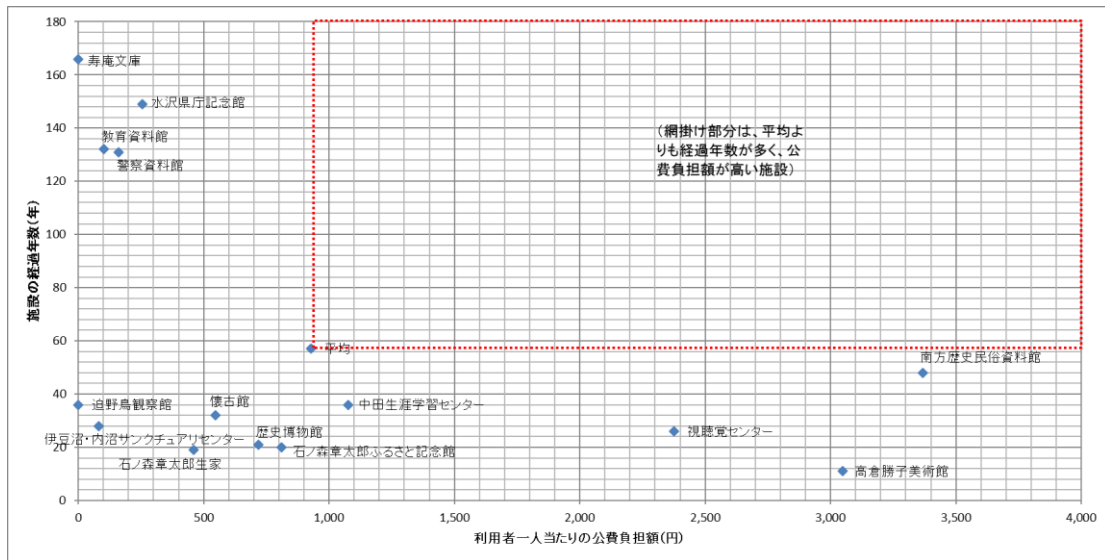
また、機能が類似している施設については機能分担を明確にし、それぞれの機能に応じた管理運営を行う。施設の老朽化が著しい施設については、施設の設置目的や利用状況を勘案し、施設の在り方について検討する。

5 施設分析

5-1 経過年数及び利用者一人当たりの公費負担額

施設の経過年数（縦軸）と利用者一人当たりの公費負担額3か年平均（横軸）を比較したグラフである。赤枠内に表示されている施設は、施設分類内の平均値より経過年数が多く、公費負担額が高くなっている。

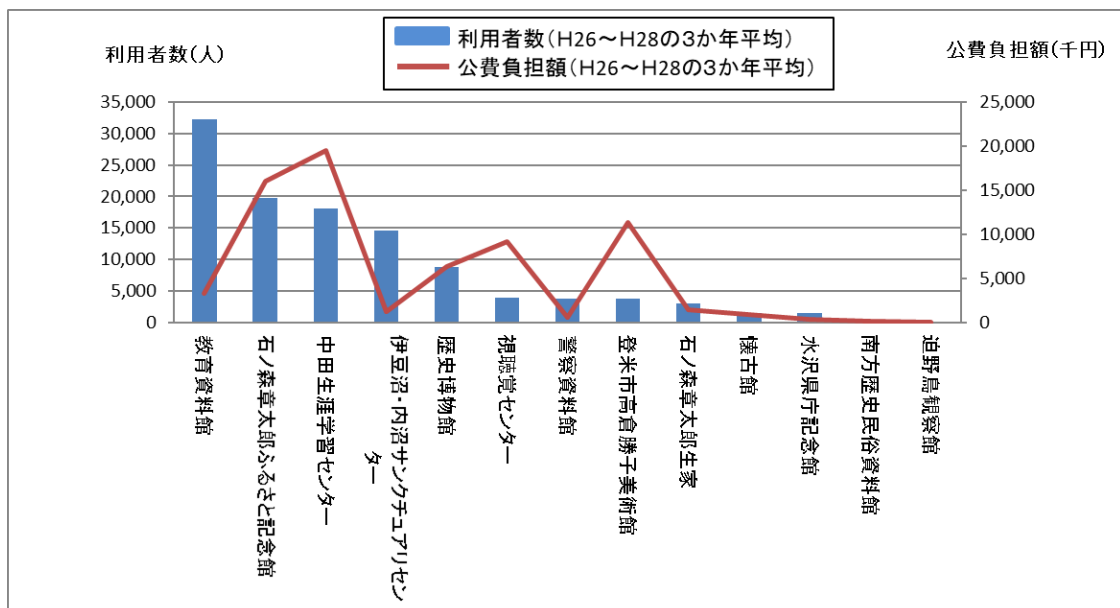
図5-1 施設別経過年数及び利用者一人当たりの公費負担額



5-2 利用者数及び公費負担額

施設の利用者数3か年平均（左軸及び青色の棒グラフ）と公費負担額総額の3か年平均（右軸及び赤色の折れ線グラフ）を比較したグラフである。折れ線グラフと棒グラフとの間の長さが大きいほど、管理運営コストが高くなっている。

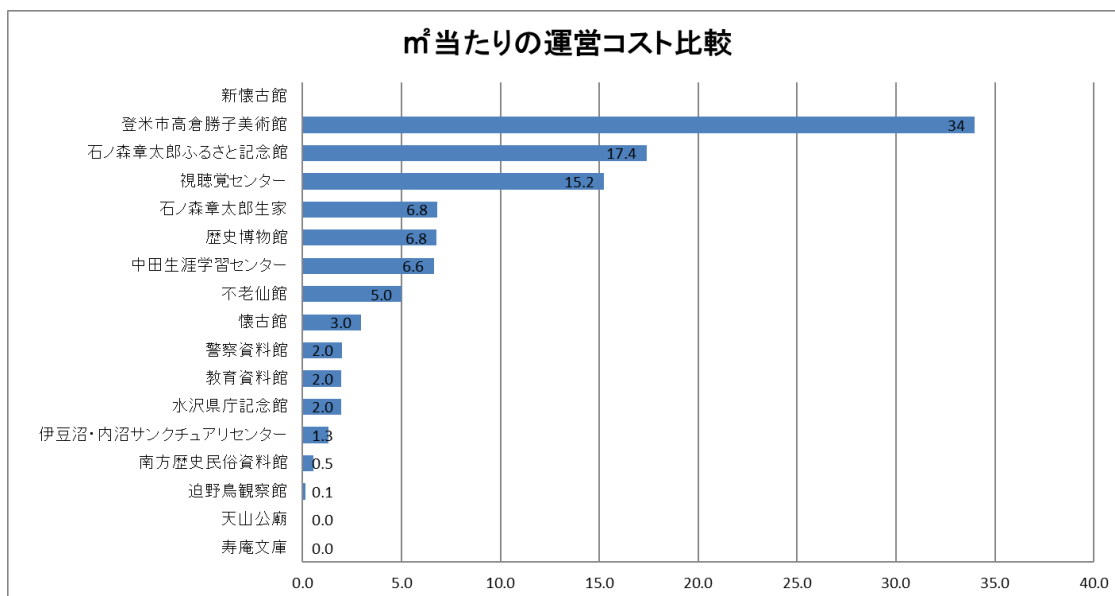
図5-2 利用者数及び公費負担額



5-3 m²当たりの運営コスト比較

公費負担額総額の3か年平均/施設の総延床面積を算出し、1 m²当たりの運営コストを比較したグラフである。

図5-3 m²当たりの運営コスト比較（単位：千円）



6 施設評価

No.	施設名	老朽化程度	耐震強度	利用実績	利用動向	代替施設	施設収支	公費負担	指定文化財	配点合計	カテゴリー 内順位
		配点20 評価点	配点10 評価点	配点20 評価点	配点10 評価点	配点0 評価点	配点20 評価点	配点20 評価点	配点10 評価点	110 評価点合計	
10	教育資料館	16	0	20	10	-	20	20	10	96	1
9	水沢県庁記念館	18	0	1	0	-	20	19	10	68	2
11	懐古館	4	10	1	10	-	20	18	0	63	3
13	警察資料館	16	0	3	6	-	0	20	10	55	4
2	伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター	4	10	9	6	-	0	20	0	49	5
3	石ノ森章太郎ふるさと記念館	3	10	13	0	-	0	17	0	43	6
15	中田生涯学習センター	5	10	12	0	-	0	16	0	43	6
5	不老仙館	20	0	1	10	-	0	1	10	42	8
6	寿庵文庫	9	0	1	0	-	0	20	10	40	9
8	歴史博物館	3	10	6	0	-	0	17	0	36	10
4	石ノ森章太郎生家	3	10	2	0	-	0	19	0	34	11
12	天山公廟	0	0	1	6	-	0	20	0	27	12
14	視聴覚センター	4	10	3	0	-	0	10	0	27	12
16	登米市高倉勝子美術館	2	10	3	0	-	0	7	0	22	14
1	迫野鳥観察館	5	10	0	0	-	0	0	0	15	15
7	南方歴史民俗資料館	6	0	1	2	-	0	6	0	15	15

登米市公共施設等総合管理計画個別計画（最終案）

《評価基準》

評価基準	配点	説明
老朽化程度	20	施設建設からの経過年数により評価する。この施設分類では、165年を最大値として、8.25年ごとに配点している（年数が長いほど点数が高い）。
耐震強度	10	建物の耐震基準の充足状況の評価（新耐震基準となる昭和56年（平成30年度時点で経過年数35年）を参考基準とする）。 基準を満たす場合…10点、基準を満たしていない場合…0点
利用実績	20	H26～28年度の3か年平均の利用者数を評価する。この施設分類では、32,294人を最大値として、1,614.7人ごとに配点している。
利用動向	10	H26～27年度の2か年平均の利用者数に対するH28年度の利用者数の増減率を、0点から10点までの6段階（0点・2点・4点・6点・8点・10点）で評価する。 10%以上：10点、10%未満5%以上：8点、5%未満0%以上：6点、0%未満-5%超：4点、-5%以下-10%超：2点、-10%以下：0点 ※利用実績がない場合は0点とする。
代替施設	0	代替となる施設がないことから評価しない。
施設収支	20	H26～28年度の3か年平均の施設に係る収入額/支出額の割合を、2点から20点の10段階で評価する。 100%以上：20点、100%未満90%以上：18点、90%未満80%以上：16点、80%未満70%以上：14点、70%未満60%以上：12点、60%未満50%以上：10点、50%未満40%以上：8点、40%未満30%以上：6点、30%未満20%以上：4点、20%未満10%以上：2点
公費負担	20	H26～28年度の3か年平均の利用者一人当たりの施設に係る支出額を評価する。この施設分類では、4,645.6円を最大値として、232.3円ごとに配点している（公費負担が大きいほど点数が低い）。
指定文化財【独自項目】	10	指定文化財であるかどうかを評価する。 指定文化財である：10点、指定文化財でない：0点

7 個別施設の今後の方向性及びロードマップ

施設の方向性について

方向性	説明
現状維持	現状のまま維持（建替え及び大規模改修含む）
多機能化	分類の違う別の目的の施設の機能を取入れる
集約化	同じ目的の複数の施設を1つに集約
多種見直し	運営方法・使用料等の見直し
広域化	市の公共施設を他自治体等と共有し、他自治体等をコスト分担
規模縮小	規模縮小し建替えする
民間譲渡	民間業者等に売却
転用	施設機能を廃止し他用途へ転用
地域移管	利用者が地域に限定されている場合、地域へ移管
機能移転	機能を移転させ施設は除却
除却	施設を除却し機能も廃止

登米市公共施設等総合管理計画個別計画（最終案）

7-1 今後の方向性

No.	施設名	施設の状況	計画内容		
		内容	方向性	実施（予定）時期	対策費用 〔単位：千円〕
1	迫野鳥観察館	昭和59年建設の建物であり老朽化が著しいが、ラムサール条約湿地として知名度も高く、伊豆沼・内沼サングチュアリセンターと併せて民間活力を活かし、市のシティブロモーションの一環として活用し、集客力を高めることが期待できる。	多様見直し (大規模改修)	第4期 (R13-R17)	38,960
2	伊豆沼・内沼サングチュアリセンター	平成27年度に県事業を活用して環境教育拠点施設としてリニューアルを行った。ラムサール条約湿地として知名度も高く、迫野鳥観察館と併せて民間活力を活かし、市のシティブロモーションの一環として活用し、集客力を高めることが期待できる。	多様見直し (大規模改修)	第4期 (R13-R17)	224,280
3	石ノ森章太郎ふるさと記念館	石ノ森章太郎ふるさと記念館は、平成12年7月20日に開館して以来、全国の石ノ森章太郎氏のファンや来館者に対し、氏の功績を発信する施設であることから、現状を維持することとする。	多様見直し (大規模改修)	第4期 (R13-R17)	182,980
	9,950				
	37,505				
4	石ノ森章太郎生家		多様見直し (大規模改修)	第4期 (R13-R17)	51,648
5	不老仙館	指定管理者により適正に管理されているが、経年劣化により修繕箇所も生じており、市指定文化財である不老仙館を後世に伝えるため、今後も修繕しながら現状を維持していくこととする。	現状維持	-	-
	不老仙館				
6	寿庵文庫	宮城県史編纂監修者の中目氏より寄贈された書跡の保管施設として建築された。平成9年、旧東和町中央公民館へ移送後は使用されていない。老朽化により倒壊の危険もあり除却することとする。	除却	第4期 (R13-R17)	960
7	南方歴史民俗資料館	震災直前に耐震補強を実施したため、大きな損傷はなかったが、経年により修繕箇所が生じている。青島貝塚や長者原貝塚の出土品等を保管展示する施設として活用してきたが、他施設への機能移転を行う。	機能移転	第4期 (R13-R17)	9,937
8	歴史博物館	直営により適切に管理されている。今後も現状を維持していくこととする。	現状維持 (大規模改修)	第4期 (R13-R17)	231,625
9	水沢県庁記念館（別棟便所を含む）	指定管理者により適正に管理されており、市指定文化財「旧水沢県庁庁舎」でもある水沢県庁記念館を後世に伝えるため、今後も現状を維持していくこととする。	現状維持	-	-
	水沢県庁記念館				
	水沢県庁記念館				
10	教育資料館	指定管理者により適正に管理されているが修繕箇所も生じており、国指定重要文化財「旧登米高等尋常小学校校舎」でもある教育資料館を後世に伝えるため、今後も修繕しながら現状を維持していくこととする。	現状維持	-	-
	教育資料館				
11	懐古館	(仮称) 新登米懐古館が令和元年度中に開館したことから、旧懐古館については除却することとする。	除却	第2期 (R3-R7)	3,321
	懐古館				6731
	懐古館収蔵庫				776
	懐古館外トイレ				596
12	天山公廟	昭和46～47年の解体修復より半世紀近く経過し、屋根材の傷みが激しくなっており修繕が必要となっている。本建物は県指定文化財であり、修繕を実施し今後も現状を維持することとする。	現状維持	-	-
13	警察資料館	指定管理者により適正に管理されており、県指定文化財「旧登米警察署庁舎」でもある警察資料館を後世に伝えるため、今後も現状を維持していくこととする。	現状維持	-	-
	警察資料館外トイレ	警察資料館裏の駐車場にある便所であるが、観光客は警察資料館内の便所を利用するため利用者は少ない。警察資料館周辺整備事業として、駐車場整備計画があるので、時期を合わせて除却することとする。	除却	第4期 (R13-R17)	662
14	視聴覚センター	視聴覚センターは、教育関係者や社会教育関係者、一般市民に開放された施設となっている。平成25年度以降の利用者数は概ね横ばいで推移しており、また、設備等の維持管理は業務委託により適正に管理されているが、民営化に向けて見直しが必要である。	多様見直し (大規模改修)	第4期 (R13-R17)	149,775

登米市公共施設等総合管理計画個別計画（最終案）

No.	施設名	施設の状況	計画内容		
		内容	方向性	実施（予定）時期	対策費用 [単位：千円]
15	中田生涯学習センター	旧桜場小学校プールの敷地内にある附属棟であり、閉校後は使われておらず、建物本来の役目は終えており、本施設は除却することとする。	除却	第4期（R13-R17）	1,720
	中田生涯学習センター	当施設は、社会教育団体や多方面に於いて活動している団体の定期的な施設利用が多く、ミュージアムについては、国内でも唯一、幾何学構成アートに特化した特色ある施設である。また、多目的ホールは、大人数の会議や、スポーツ団体等の定期的な利用が多く、外倉庫は、事業等に使用する備品やミュージアム野外作品の維持管理に必要な物品を収納している。	多種見直し (大規模改修)	第3期（R8-R12）	525,773
	中田生涯学習センター				189,223
	中田生涯学習センター	当施設については、直営で運営を行っているが、民間活力を活かし更なる施設の有効活用を図る必要がある。	多種見直し	第2期（R3-R7）	—
16	登米市高倉勝子美術館	指定管理者により良好に管理されており、今後も現状を維持していくこととする。	現状維持	—	—
17	新懐古館	指定管理を視野に入れて、今後も現状を維持していくこととする。	現状維持	—	—

7-2 ロードマップ

No.	施設名	施設面積 更新面積	第1期				第2期	第3期	第4期
			H28	H29	H30	R1	R2	R3-R7	R8-R12
1	迫野鳥観察館	155.84						多種見直し —	大規模改修 38,960
2	伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター	897.12						多種見直し —	大規模改修 224,280
3	石ノ森章太郎ふるさと記念館	731.92						多種見直し —	大規模改修 182,980
	石ノ森章太郎ふるさと記念館	39.80						多種見直し —	大規模改修 9,950
	石ノ森章太郎ふるさと記念館	150.02						多種見直し —	大規模改修 37,505
4	石ノ森章太郎生家	206.59						多種見直し —	大規模改修 51,648
5	不老仙館	607.00							
	不老仙館	9.90							
6	寿庵文庫	24.00							除却 960
7	南方歴史民俗資料館	248.42							機能移転 9,937
8	歴史博物館	926.50							大規模改修 231,625
9	水沢県庁記念館 (別棟便所を含む)	165.98							
	水沢県庁記念館	9.94							
	水沢県庁記念館	9.94							
10	教育資料館	1657.53							
	教育資料館	28.18							
11	懐古館	83.02						除却 3,321	
	懐古館	168.27						除却 6,731	
	懐古館収蔵庫	19.40						除却 776	
	懐古館外トイレ	14.91						除却 596	
12	天山公廟	57.00							
13	警察資料館	293.10							
	警察資料館外トイレ	16.56							除却 662
14	視聴覚センター	599.10						多種見直し —	大規模改修 149,775

登米市公共施設等総合管理計画個別計画（最終案）

No.	施設名	施設面積 更新面積	第1期					第2期	第3期	第4期
			H28	H29	H30	R1	R2	R3-R7	R8-R12	R13-R17
15	中田生涯学習センター	43.00								除却 1,720
	中田生涯学習センター	2103.09					多種見直し -	大規模改修 525,773		
	中田生涯学習センター	756.89					多種見直し -	大規模改修 189,223		
	中田生涯学習センター	36.00					多種見直し -			
16	登米市高倉勝子美術館	332.89								
17	新懐古館	824.60								

8 期待される効果等

博物館における登米市公共施設等総合管理計画策定時保有総延床面積は 10,391.91 m² であり、個別計画の策定により令和 17 年度保有総延床面積は 10,598.93 m² となる。よって、207.02 m² の増加となり、その増加率は約 1.99% となる。

博物館は、その施設の性質上、機能の集約化や除却といった方向性を打ち出せる施設が少なく、削減が厳しい状況である。今後歳出を抑制し歳入を増加させる必要があり、運営方法の見直しを図ることとし、多種見直しという方向性となっている。